

KVK hadam^o [PZS370TPF] 取り付け説明書・取扱説明書1

■取り付け前・ご使用前にこの説明書を必ずお読みの上、正しく取り付け・ご使用ください。
この説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です	 この絵表示は、「分解禁止」の内容です	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です
--	--	--

やけど、漏水をした場合の処置
やけど やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

警告	シャワーには60℃以上のお湯を通水させないでください。  禁止 器具が破損し、やけどをするおそれがあります。	決められた項目以外の分解・点検はしないでください。  分解禁止 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうか確かめてから使用してください。  必ず守る 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また、吐水口とシャワーとの切替時に吐水温度が高くなる場合があります。
	シャワーヘッドの吐水切替をおこなった場合は、手で適温かどうか確かめてから使用してください。  必ず守る 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	一時止水解除後は、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうか確かめてから吐水してください。  必ず守る 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また、吐水口とシャワーとの切替時に吐水温度が高くなる場合があります。	必ずサーモスタット水栓と組み合わせてご使用ください。  必ず守る サーモスタット水栓以外の水栓と組み合わせて使用された場合、吐水切替時に温度が大きく変動し、やけどをするおそれがあります。

ご使用方法 1

吐水切替方法

切替ハンドルをまわし、シャワーヘッド中央に各表示を合わせて吐水切替をしてください。
※シャワーを出しながら吐水切替をおこなうと、切替操作が重くなる場合がありますので、その場合は止水してから切り替えてください。



スポットシャワー
ミストシャワー
レギュラーシャワー
切替ハンドル

ミストシャワー 細かい霧状の吐水
スポットシャワー 細く密集した吐水
レギュラーシャワー 広範囲に浴びられる吐水

警告
 ・シャワーには60℃以上の熱湯を通水させないでください
器具が破損し、やけどをするおそれがあります。

警告
 シャワーヘッドの吐水切替をおこなった場合は、手で適温かどうか確かめてから使用してください
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また、吐水口とシャワーとの切替時に吐水温度が高くなる場合があります。

【ミストシャワーについて】

- ・ミストシャワーの細かい吐水は周囲の空気に触れる面積が広く冷めやすいため、吐水温度が低くなる場合があります。また、シャワーフェイスから離れてお使いになると他の吐水に比べて冷たく感じる場合があります。
- ・冷たく感じる場合は、水栓本体の温度調節ハンドルで設定温度を上げてください。ストッパー解除ボタンを押して高温設定にしたままシャワーヘッドの吐水切替をおこなうと、やけどのおそれがあります。ミストシャワー使用後は温度調節ハンドルを目盛「40」以下に戻してください。
- ・ミストシャワーは吐水量が少なく、給湯器が着火しない場合があります。

<p>定量水栓・自閉式水栓には取り付けしないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>破損するおそれがあります。</p>	<p>めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p>	<p>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>けがをするおそれがあります。</p>
<p>注意</p> <p> 禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p>	<p>シャワーヘッドは髪から離してお使いください。</p> <p> 必ず守る</p> <p>髪に付けて使用するとシャワーヘッドのすき間に髪が絡まるおそれがあります。</p>	<p>ヘッドをホースに取り付ける際はホースナットを回して、まっすぐ取り付けてください。</p> <p> 必ず守る</p> <p>ヘッドのねじ部は樹脂製のため、斜めに取り付けるとねじがたがふれ、ホースに取り付けできなくなる場合があります。</p>
<p>樹脂製エルボの場合は金属製エルボに必ず交換してください。</p> <p> 必ず守る</p> <p>交換しないとシャワーエルボが破損し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>使用後は、必ずシャワーを出の状態にして、水栓金具本体のハンドルで止水してください。</p> <p> 必ず守る</p> <p>1. 出の状態 2. 止水</p> <p>水栓本体のハンドルで止水しないと器具が破損するおそれがあります。</p>	<p>凍結のおそれがある場合はシャワーを出の状態にして水栓金具の水抜き手順に従い水抜きをしてください。</p> <p> 必ず守る</p> <p>出の状態</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

使用上のご注意

- ① このシャワーヘッドはウルトラファインバブルを発生させるためシャワーヘッド内部で音が鳴りますが、故障ではありません。
- ② 現在お使いのシャワーよりも、シャワー吐水量が少なくなる場合があります。
- ③ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

ご使用方法 2

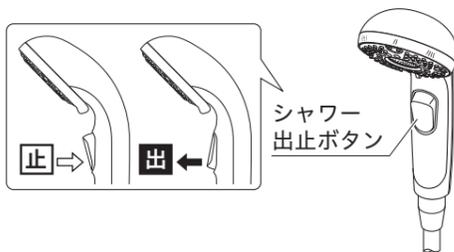
一時止水方法

シャワー使用中、シャワー出止ボタンにて一時的に止水できます。

警告

必ず守る

- ・湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうか確かめてから吐水してください
- ・一時止水使用後にシャワーを使用する場合は、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうか確かめてから吐水してください
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また、吐水口とシャワーとの切替時に吐水温度が高くなる場合があります。



止 → 出 ←
シャワー出止ボタン

注意

必ず守る

使用後は、必ずシャワーを出の状態にして、水栓金具本体のハンドルで止水してください
水栓本体のハンドルで止水しないと器具が破損するおそれがあります。

【止水後または吐水モード切替時の水滴について】
シャワー使用後、または吐水モード切り換え時にシャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはヘッド内部の残留水です。異常ではありません。シャワー使用後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。

【お願い】
シャワーヘッドを湯水に浸けないでください。シャワーフェイスのノズル穴がつまりやすくなります。

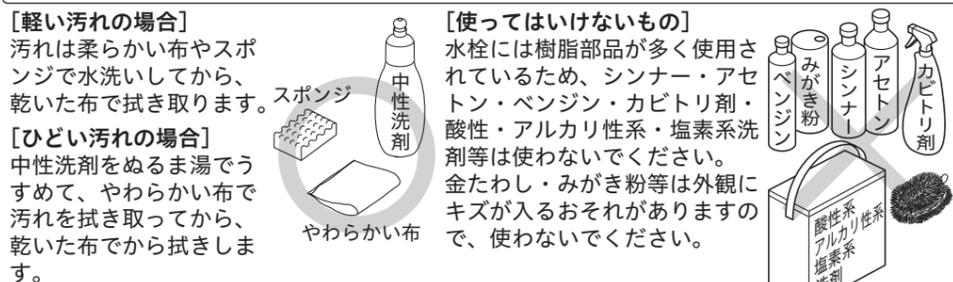
日常のお手入れ・保守 1

お手入れ方法

【軽い汚れの場合】
汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】
中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。

【使ってはいけないもの】
水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、製品に貼り付いているシールや文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

日常のお手入れ・保守 2

シャワーフェイスの清掃方法

シャワーフェイスのノズルが詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので清掃してください。

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞ってノズルを傷つけないように、軽く汚れをふきとってください。

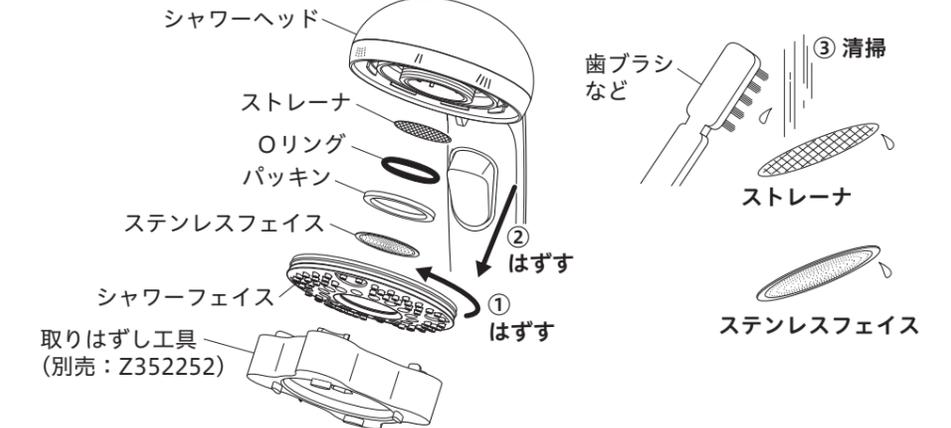
【お願い】
強い力でノズルの汚れをふき取ると破損の原因となりますのでご注意ください。



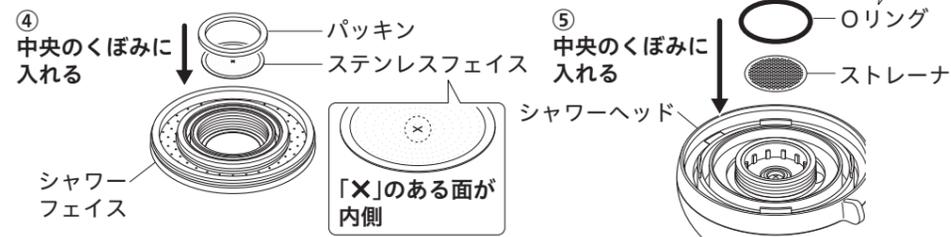
ストレーナ・ステンレスフェイスの清掃方法

ストレーナ・ステンレスフェイスが詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、清掃してください。

- ① シャワーフェイスの凹部に専用工具(別売: Z352252)をかけ、左回転に回して取りはずします。
- ② ステンレスフェイス・パッキン・Oリング・ストレーナをはずします。
- ③ ステンレスフェイス・ストレーナをブラシで水洗いします。



- ④ シャワーフェイスにステンレスフェイス・パッキンを入れます。
※ステンレスフェイスは「X」がある面を内側に向けてください。
- ⑤ シャワーヘッド中央のくぼみにストレーナ・Oリングを入れます。
※Oリングは脱落ちないように、くぼみ内に軽く押し込んでください。



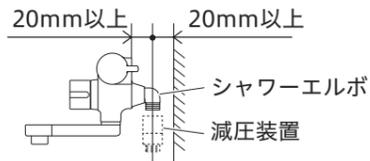
5 ページ

取り付け前にご確認ください(KVK製取り付け対象商品)

サーモスタット式シャワー水栓が対象となります。ただし、定量止水付水栓・自閉式水栓には取り付けできません。このシャワーは、今お使いの水栓が下記の①と②条件を満たしていないと取り付けできません。

【取り付け可能商品】

- ① 定量止水付水栓・自閉式水栓以外のサーモスタット式シャワー水栓
- ② シャワーエルボに減圧装置を取り付けるスペース(前後20mm以上)がある水栓



現在お使いの水栓のシャワーエルボが樹脂製の場合は、金属製のシャワーエルボに交換が必要です。

ねじ込み式の樹脂製シャワーエルボの場合	ナット式の樹脂製シャワーエルボの場合	シャワーホースが外径小(φ13.5mm)タイプ(エルボ有・無しは無関係)
金属製シャワーエルボ PZ76(別売)をお求めください。	金属製シャワーエルボ PZKF66N(別売)をお求めください。	減圧装置部にアタッチメント PZ444(別売)・PZKF146(別売)をお求めください。

取り付け手順1(金属製シャワーエルボへの取り替え)

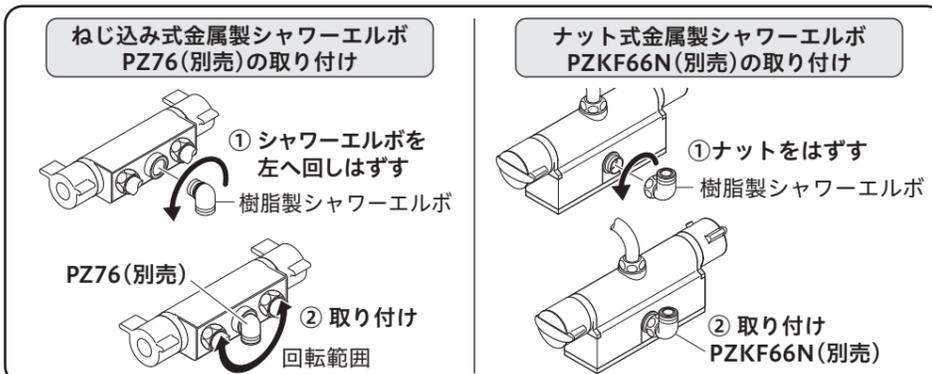
シャワーエルボの破損を防ぐため、金属製シャワーエルボに必ず交換してください。

- ① 水栓金具に付いているシャワーホースおよび、樹脂製のシャワーエルボを取り外します。
- ② 別売の金属製シャワーエルボ(ねじ込み式の場合: PZ76・ナット式の場合: PZKF66N)を取り付けます。

[ねじ込み式の場合] ねじを締め付けた所から、矢印の範囲で回転する位置まで戻しておきます。

[ナット式の場合] 締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】 締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。



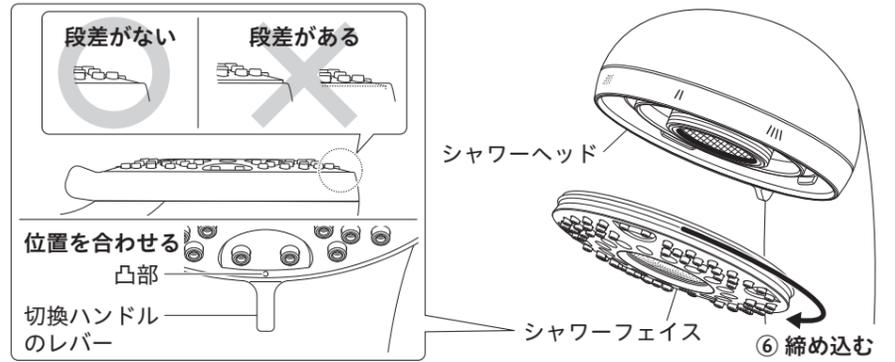
イラストは参考図です

7 ページ

日常のお手入れ・保守 3

- ⑥ 工具を使ってシャワーフェイスをシャワーヘッドに締め込みます。シャワーフェイスの端と切換ハンドルに段差がない程度まで締め込み、シャワーフェイスの凸部と切換ハンドルのレバーを合わせてください。

【お願い】 シャワーフェイスを締め付け不足や締め付けすぎると、水漏れや破損の原因となりますのでご注意ください。



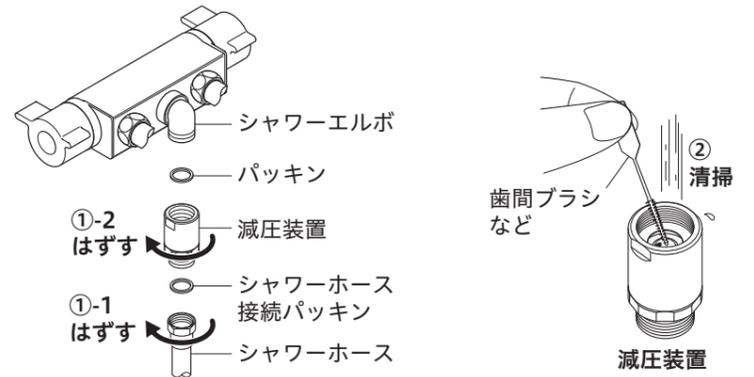
シャワーが弱くなったと感じたら...

シャワーが弱くなったと感じた場合は、水栓本体のストレーナを清掃してください。
※清掃方法は水栓本体の仕様によって異なります。

➡ 取扱説明書「ソケットのストレーナ清掃」参照

水栓本体のストレーナを清掃しても改善しない場合は、減圧装置を清掃してください。

- ① 減圧装置を取りはずします。
 - ② 歯間ブラシ等でゴミ・水あか等を洗い流し、減圧装置を清掃してください。
- ※清掃後は必ず減圧装置をシャワーエルボに取り付けてください。
減圧装置を取り付けないとシャワーヘッド本体が損傷するおそれがあります。



6 ページ

取り付け手順 2 (シャワーヘッドの取り付け)

シャワーヘッド本体の損傷を防ぐために、必ず減圧装置をシャワーエルボに取り付けてください。

※減圧装置を取り付けないと、シャワーヘッド本体が損傷するおそれがあります。
※シャワーエルボが付いていない水栓金具の場合は、本体シャワー接続部に直接減圧装置を取り付けてください。

- ① シャワーエルボに減圧装置を取り付けます。締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】 締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。

[シャワーエルボがない水栓の場合]

シャワーエルボは必要ありません。直接ねじ部へ減圧装置を取り付けてください。

- ② 減圧装置に既存のシャワーホースを接続します。

【お願い】 シャワーホースとシャワー接続パッキンは既存のものを使用します。

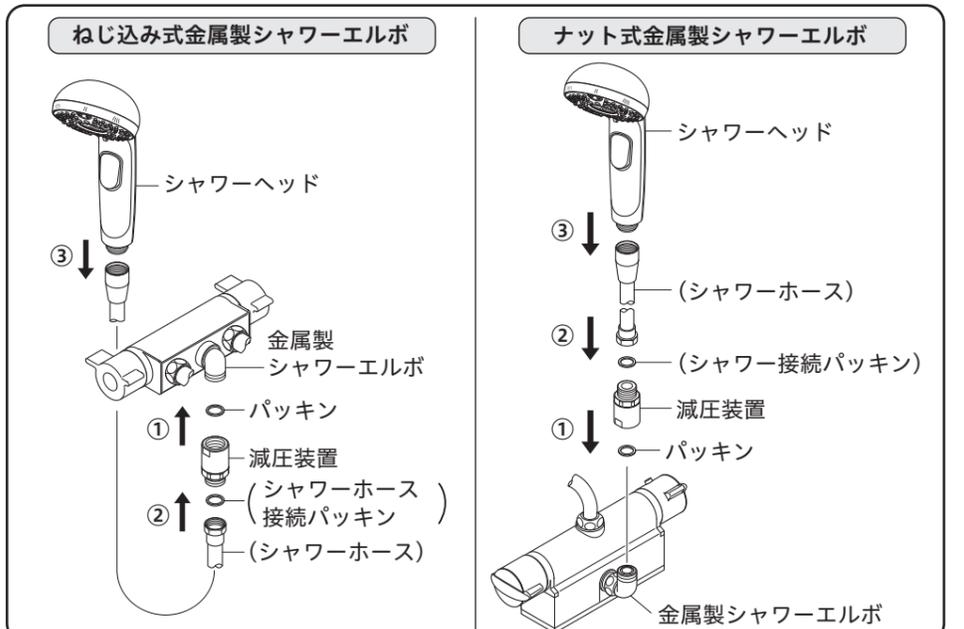
- ③ シャワーヘッドを取り付けます。

⚠ 注意

必ず守る

ヘッドをホースに取り付ける際はホースナットを回して、まっすぐ取り付けてください
ヘッドのねじ部は樹脂製のため、斜めに取り付けるとねじがつぶれ、ホースに取り付けできなくなる場合があります。

- ④ 通水して、各接続部に水漏れがないことを確認してください。



イラストは参考図です

8 ページ

405673-00

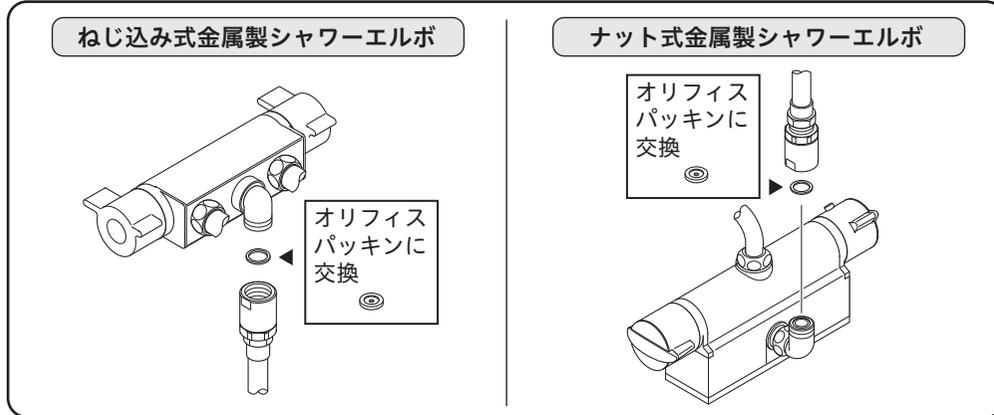
通水後、シャワーのウォーターハンマー音(水撃)が気になる場合は、パッキンの代わりにオリフィスパッキンをお使いください。

ウォーターハンマー音を低減します。

オリフィスパッキンを使用すると、シャワー吐水量は少なくなる場合があります。

※オリフィスパッキンは仕様により同梱されていない場合があります。

※オリフィスパッキンを使用する場合は、下図のパッキンと交換してください。

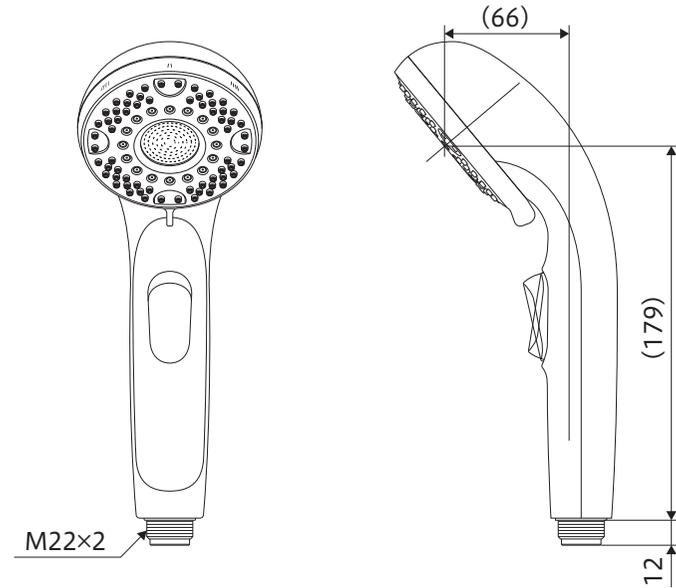


イラストは参考図です

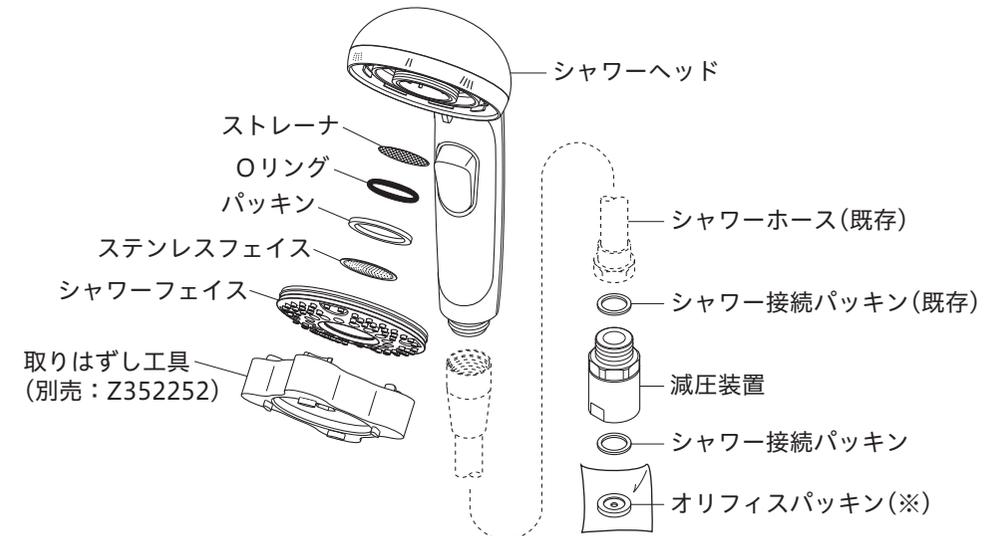
取り付け上のご注意

- ・最低必要水圧：A + 0.1MPa以上
A=給湯器作動水圧 + 配管圧力損失
- ・2階へ給湯する場合、シャワーの流量が少なくなる可能性がありますのでご注意ください。
- ・現在ご使用のシャワーヘッドから取り替える場合は、減圧装置の使用により現在ご使用のシャワーヘッドよりも吐水量が減ることがあります。
- ・やけど防止のため、必ずサーモスタット水栓と組み合わせてご使用ください。

寸法図



分解図



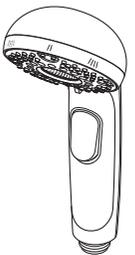
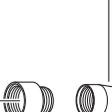
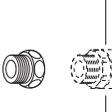
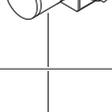
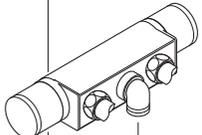
※オリフィスパッキンは仕様により同梱されていない場合があります。

KVK製以外の水栓に取り付ける場合

KVK製以外の水栓に取り付ける場合は、別売のアタッチメントが必要です。

- 現在お使いのメーカーをご確認ください。使用するアタッチメントが異なります。アタッチメントの品番は下表を参照してください。
- 金属製のシャワーエルボが取り付けられている製品またはシャワーエルボがない水栓が対象です。

[アタッチメント対応表]

					
シャワーヘッド	アタッチメント	シャワーホース	アタッチメント	アタッチメント	本体
KVK	PZKF149-1	SANEI KAKUDAI タカギ MYM(MCタイプ)	PZ444	PZKF146	SANEI KAKUDAI タカギ MYM
	PZKF149-2	LIXIL			LIXIL
	PZKF149-3	MYM (ファイン・カチット)	MYM		
	PZKF149-1	TOTO 太ホース	PZ443	PZKF146-3	TOTO (太ホース)

※TOTO製細ホースタイプには取り付けできません

- アタッチメントの取り付け時は、下記に注意してください。

⚠ 注意



必ず守る

- 接続する際は、パッキンを必ずはめてください
漏水するおそれがあります。
- ヘッドをホースに取り付ける際はホースナットを回して、まっすぐ取り付けてください
ヘッドのねじ部は樹脂製のため、斜めに取り付けるとねじがつぶれ、ホースに取り付けできなくなる場合があります。

故障かなと思ったら・・・

次のような現象は故障ではありません。

修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	止水後、または吐水モード切り換え時にシャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
シャワーが弱い	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	水栓本体の取扱説明書参照
	ストレーナ・ステンレスフェイス・シャワーフェイスにゴミなどが詰まっていますか	ストレーナ・ステンレスフェイス・シャワーフェイスを清掃する	5ページ 「シャワーフェイスの清掃方法」 5～6ページ 「ストレーナ・ステンレスフェイスの清掃方法」
シャワーヘッドから音がする	シャワーヘッド内部でウルトラファインバブルを発生させるための音です。故障ではありません。		—
ミストシャワーに切り換えると冷たく感じる	ミストシャワーの細かい吐水は周囲の空気に触れる面積が広く冷めやすいため、吐水温度が低くなる場合があります。また、シャワーフェイスから離れてお使いになると他の吐水に比べて冷たく感じる場合があります。		—

株式会社KVK インターネットホームページ <https://www.kvk.co.jp/>

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

☎ 0120-474-161 ※携帯からは、0574-55-1191をご使用ください。

商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。

☎ 0570-099-552